



**JASDAQ**

平成 25 年 8 月 20 日

各 位

会 社 名 テクノホライズン・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野村 拓 伸  
(JASDAQ・コード 6629)

問合せ先  
役職・氏名 常務取締役 渡 邊 毅  
電話 052-823-8551

**新製品『書画カメラ（実物投影機）L-12i（愛称：みエルモン）』  
ならびに『ユニット型電子黒板 CRB-1（愛称：つたエルモン）』  
発売に関するお知らせ  
（当社連結子会社：株式会社エルモ社）**

“わかりやすい授業”の実現に向けて、書画カメラを軸にCRS（クラスルームソリューション）を積極的に展開しております、当社の連結子会社である株式会社エルモ社は、平成25年8月20日より下記の新CRS機器2機種を発売いたしますので、お知らせいたします。

- ①世界でロングセラーの書画カメラ（実物投影機）Lシリーズをさらに発展させ  
電子黒板時代に対応した『みエルモン：L-12i』
- ②パソコンがなくても書画カメラと一緒に使える電子黒板『つたエルモン：CRB-1』

両製品の詳細につきましては添付資料

「株式会社エルモ社 プレスリリース：書画カメラ（実物投影機）L-12i」ならびに

「株式会社エルモ社 プレスリリース：電子黒板CRB-1」

をご参照ください。

以上

## 新製品のご案内

ベストセラー 書画カメラ みエルモン がもっとインタラクティブに

書画カメラ(実物投影機) **L-12i** (愛称:みエルモン)

2013年8月20日(火)より発売

価格:81,900円(税込)

テクノホライゾングループ [JASDAQ 6629] の株式会社エルモ社(本社:名古屋市瑞穂区明前町6-14 代表取締役社長:林 数馬)は、2013年8月20日(火)、学校や教育機関向けにインタラクティブ書画カメラ L-12i (愛称:みエルモン)を発売いたします。

日本では 2009 年度の「スクールニューディール」政策を普及のきっかけとして、小中高等学校の教室にデジタルテレビ 約 29 万台、書画カメラ 約 12 万台、電子黒板 約 7 万台(\*1)が設置されてきました。また、2012 年度策定の文部科学省の教材整備指針には、電子黒板と書画カメラ(実物投影機)は「1 学級に 1 台」の整備が望ましいと明記され、引き続き全国各地の学校で機器の導入が進んでおります。こうした中、エルモ社では国内導入実績 No.1(\*2) の実績を誇る書画カメラ L シリーズ(愛称:みエルモン)をリニューアル。インタラクティブ書画カメラ L-12i を発売いたします。



インタラクティブ書画カメラ L-12i  
(愛称:みエルモン)

### 【インタラクティブ書画カメラ L-12i の商品コンセプトと特長】

これまでの良さをそのままに、電子黒板時代に対応したインタラクティブ書画カメラ。コンピューターや ICT 機器が得意な先生も、そうでない先生にも毎日の授業で使っていただける。これが、エルモ社の教育用 ICT 機器の基本コンセプトです。おかげさまで書画カメラにおきましては、小中高等学校の授業におけるその利便性が広く認められ、電子黒板に先駆けて教室に必要な ICT 機器として普及が進んできました。そのなかでも当社の書画カメラ L シリーズは、「みエルモン」の愛称にて多くの先生方や子供たちに親しまれてきました。L-12i は、ロングセラーの L シリーズ製品として 6 回目の製品となります。電子黒板時代に対応した、よりインタラクティブな書画カメラとして生まれ変わるとともによりお求めやすい価格となりました。

電子黒板との連携強化、エルモの電子黒板と一緒にPCレスで使用可能

今回リニューアルのL-12iより、PCとの接続、電子黒板との連動が容易となりました。従来はPCへ書画カメラ専用ソフトのインストールを必要としていましたが、L-12iからはUSBケーブルでPCへ接続するだけでパソコンがカメラを認識します。これによりL-12iをwebカメラとして遠隔授業で使用したり、市販の電子黒板ソフトと合わせて使用するなど連携の幅が大きく広がりました。

また、同時発売のエルモの電子黒板CRB-1とインタラクティブ書画カメラL-12iを併用いただくことにより、パソコンが無くても投影された画面に書き込みができます。教科書やノートを書画カメラの下に置く、映し出された画面にアンダーラインを引く、丸をする、こんな日常的な行為をパソコンなしに実現します。もちろんパソコンと接続してお使いいただくことにより、より多彩な表現や機能をお使いいただくことができます。

「みエルモン」と「かけるもん」と「つたエルモン」～エルモのクラスルームソリューション～  
エルモのクラスルームソリューション製品は、お客さまの教室環境や予算、費用対効果に応じて、自由な組み合わせで、また、使用者のスキルに合わせてお使いいただけることが大きな特長です。

同時発売のユニット型電子黒板「CRB-1(愛称:つたエルモン)」、姉妹製品ワイヤレス・ペンタブレット「CRA-1(愛称:かけるもん)」とセットでお使いいただくことにより、PCレスでデジタルテレビやプロジェクタに投影された書画カメラの映像へのかき込みや保存を実現し、子どもたちの発表を教室後方からサポートしたり、机間指導しながら大画面へのかき込みを行って指導したりすることも可能となり、教員と児童のよりインタラクティブなコミュニケーションを実現します。

#### 【エルモクラスルームソリューション使用イメージ】



【L-12iの主な特長】 特長	機能と効果
高倍率ズーム 高画質	1. 12倍光学ズーム及び高画質センサの採用で、細部も鮮明に映し出す。 2. 8倍デジタルズームを合わせて、トータル96倍ズームが実現。 3. フルハイビジョン対応(HDMI出力)で、高精細デジタルテレビに対応。
使いやすさ	1. 300度回転するアームと回転カメラヘッドで、あらゆる角度から映し出せ、置き場所を選ばない。 2. USBメモリ、SDカードへの録画・録音が可能。 3. 付属のリモコンを使えば、離れたところからも操作可能。ハイライト&マスク、コンペアピクチャ機能など一歩進んだ映し方が可能。
ユニット型電子黒板 CRB-1との連携 ワイヤレス・ペンタブレット CRA-1との連携	1. PCレスで、実物投影した映像にリアルタイムでかき込み可能。 2. 書画カメラのコントロールが可能。 3. ボタン一つで、簡単に録画録音・再生が可能。
パソコンとの連携	1. 弊社ソフト“Image Mate Accent 2”をPCにインストールして使用することにより、より高度で多彩な表現を行うことが可能。 2. UVCに対応しているため、電子黒板ソフト上への映像の取り込みやWebカメラとして利用可能。

#### 【電子黒板とは】

電子黒板は、PC 上の画像や書画カメラの映像をプロジェクタの投射面やディスプレイに映し出し、大画面上で直接、画面を操作し、文字や絵を書き込んだり、拡大・縮小、保存等ができる映像機器です。教育現場で使用される代表的な入力機器の一つである書画カメラとの組み合わせでは、こどものノートや教材、教具などをリアルタイムで取り込み、その上に書き込みなどを加え、より分かりやすい授業展開が可能です。

#### 【書画カメラ(実物投影機)とは】

書画カメラとは、書類や立体物をテレビモニターやプロジェクタを介して、そのまま画像でリアルタイムに映し出す映像入力機器で、拡大縮小が自在にできます。「実物投影機」「資料提示装置」「教材提示装置」とも呼ばれています。最近では、効果が高く、簡単に使える ICT 機器の一つとして、小・中学校の授業での活用へと需要が広がっています。

\*1:2012 年度 3 月 1 日現在 文部科学省「教育の情報化実態調査」より

\*2:2013 年 8 月現在 当社調べ

---

この件に関するお問合せ先  
 株式会社 エルモ社 ICT マーケティング部  
 電話:052-821-3141 FAX:052-824-4400 住所:名古屋市瑞穂区明前町 6-14

e-mail: [ict@elmo.co.jp](mailto:ict@elmo.co.jp)

---

## 新製品のご案内

## パソコンがなくてもエルモの書画カメラと一緒に使える電子黒板

## 電子黒板 CRB-1 (愛称: つたエルモン)

2013年8月20日(火)より発売

価格: 99,750 円(税込)

テクノライゾングループ [JASDAQ 6629] の株式会社エルモ社(本社:名古屋市瑞穂区明前町 6-14 代表取締役社長: 林 数馬)は、2013年8月20日(火)、学校や教育機関向けに電子黒板 CRB-1(愛称: つたエルモン)を発売いたします。

日本では 2009 年度の「スクールニューディール」政策を普及のきっかけとして、小中高等学校の教室にデジタルテレビ 約 29 万台、書画カメラ 約 12 万台、電子黒板 約 7 万台(\*1)が設置されてきました。また、2012 年度策定の文部科学省の教材整備指針には、電子黒板と書画カメラ(実物投影機)は「1 学級に 1 台」の整備が望ましいと明記され、引き続き全国各地の学校で機器の導入が進んでおります。こうした中、エルモ社では書画カメラ国内導入実績 No.1(\*2) の実績を背景に、このたび電子黒板を発売いたします。



エルモの電子黒板 CRB-1 (一式)  
[センサー、電子ペン、ワイヤレスユニット]

製品概要はこちらをどうぞ

動画 QR コード



## 【エルモの電子黒板 CRB-1 の商品コンセプトと特長】

## すべての先生に快適な授業空間を

コンピューターや ICT 機器が得意な先生も、そうでない先生にも毎日の授業で使っていただける。これが、エルモ社の教育用 ICT 機器の基本コンセプトです。おかげさまで書画カメラにおきましては、小中高等学校の授業におけるその利便性が広く認められ、電子黒板に先駆けて教室に必要な ICT 機器として普及が進んできました。

この度発売のエルモの電子黒板 CRB-1 も当社の書画カメラと同様に、すべての先生に簡単に使いやすいいただけるよう設計されています。

## パソコンが無くても使える電子黒板

当社の書画カメラ L-12 シリーズ製品と一緒にお使いいただくことにより、パソコンが無くても投影された画面に書き込みができます。教科書やノートを書画カメラの下に置く、映し出された画面にアンダーラインを引く、丸をする、こんな日常的な行為をパソコンなしに実現します。

もちろんパソコンと接続してお使いいただくことにより、より多彩な表現や機能をお使いいただくことができます。

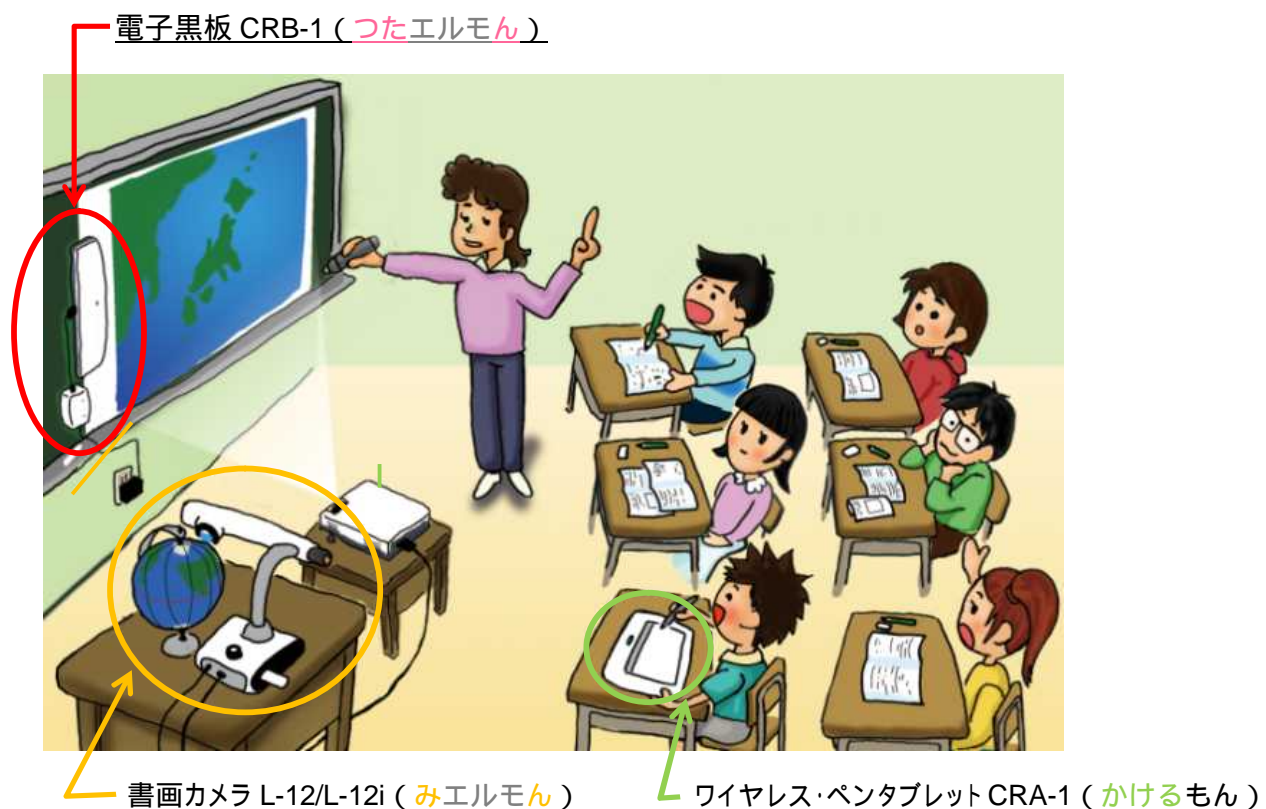
### 簡単設置、ポータブル、そしてワイヤレス

エルモの電子黒板 CRB-1 は、取り付けや取り外しが簡単なユニット型。黒板などのプロジェクタの投影画面の脇や大型液晶TVの枠に簡単に取り付けが可能です。一式わずか 140g にて持ち運びも楽々。また、パソコンと一緒に使用する場合にも、ワイヤレス接続のため配線などを気にする必要がありません。

「みエルモン」と「かけるもん」と「つたエルモン」 ~ エルモのクラスルームソリューション  
「みエルモン」とは、エルモの書画カメラの愛称。そして「かけるもん」とは、エルモのワイヤレス・ペンタブレットの愛称。多くの学校で、私たちの製品はその愛称で呼ばれ、親しまれております。そしてエルモの電子黒板 CRB-1 は、先生と子供たちの“つたえ合い”をもっともっと、との思いを込めて **つたエルモン** と名付けました。

それぞれの製品はお客さまの教室環境や予算、費用対効果に応じて、自由な組み合わせでお使いいただくことができるものエルモクラスルームソリューション製品の大きな特長であり、今般 CRB-1 がその仲間入りとなりました。

### 【エルモクラスルームソリューション使用イメージ】



## 【製品の主な特長】

### PC レス:

インタラクティブ書画カメラ「L-12」シリーズと連携すれば、「パソコンレス」で実物投影した映像にリアルタイムで書き込みや保存が可能です。

### ワイヤレス:

付属のワイヤレスユニットを使用すれば、書画カメラまたはパソコンとの結線が不要です。

### ポータブル:

付属品を含め、わずか 140g と携帯性に優れたパッケージ(センサー、電子ペン、ワイヤレスユニット)

### インタラクティブ:

別売のワイヤレス・ペントラレット「CRA-1(かけるもん)」と電子黒板 CRB-1 の併用が可能(ワイヤレスレーザーの共用)。板書時でも机間指導時でも自由なスタイルで活用が可能です。

### パソコン用アプリケーションソフトウェア(Image Mate Accent2):

- ・書画カメラで映した映像への書き込みや保存の他、PC 画面の取込や操作も可能です。
- ・豊富な記録機能(静止画・動画・長時間間欠録画)により、授業の記録やコンテンツの作成がボタン一つで簡単にできます。
- ・ホワイトボード、五線譜、方眼などのテンプレートを使用したり、投影画面の一部を強調(ハイライト)したり、隠したり(マスク)するなどの表現機能が充実しています。

## 【電子黒板とは】

電子黒板は、PC 上の画像や書画カメラの映像をプロジェクタの投射面やディスプレイに映し出し、大画面上で直接、画面を操作し、文字や絵を書き込んだり、拡大・縮小、保存等ができる映像機器です。教育現場で使用される代表的な入力機器の一つである書画カメラとの組み合わせでは、こどものノートや教材、教具などをリアルタイムで取り込み、その上に書き込みなどを加え、より分かりやすい授業展開が可能です。

## 【書画カメラ(実物投影機)とは】

書画カメラとは、書類や立体物をテレビモニタやプロジェクタを介して、そのまま画像でリアルタイムに映し出す映像入力機器で、拡大縮小が自在にできます。「実物投影機」「資料提示装置」「教材提示装置」とも呼ばれています。最近では、効果が高く、簡単に使える ICT 機器の一つとして、小・中学校の授業での活用へと需要が広がっています。

\*1:2012 年度 3 月 1 日現在 文部科学省「教育の情報化実態調査」より

\*2:2013 年 8 月現在 当社調べ

---

この件に関するお問合せ先  
株式会社 エルモ社 ICT マーケティング部  
電話:052-821-3141 FAX:052-824-4400 住所:名古屋市瑞穂区明前町 6-14

e-mail:[ict@elmo.co.jp](mailto:ict@elmo.co.jp)

---